

待望!! 高知カシオが完成



本市の第2次産業の 充実に期待大

県と南国市が誘致を進めていた、最先端技術企業の「高知カシオ」(社長・樫尾幸雄カシオ計算機専務)の新工場が完成。四月二十三日に落成式が行われました。

同社では、七月から電子デバイス(部品)の操業に入ります。

待ちに待った

工場完成

高知カシオは、世界的なエレクトロニクス機器メーカーのカシオ計算機を創業した故郷、本市の植田出身であることから、早くから積極的に誘致を進めてきました。そして昭和六十一年四月に比江工業団地に土地の購入に至りましたが、進出に伴う条件が

整っていなかったことから進出を見合わせていました。この間に、県・市ともに交通網の整備など条件整備に努め、本四架橋の完成や高速道の整備も進んだことから、昨年八月二日に高知カシオを設立、九月二十五日に起工式を行い、建設工事を進めていました。

四月二十三日の工場完成は、土地の購入からでも五年になる、待ちに待った完成。南国市の第2次産業の新たな中核の誕生です。

最先端の

ハイテク工場

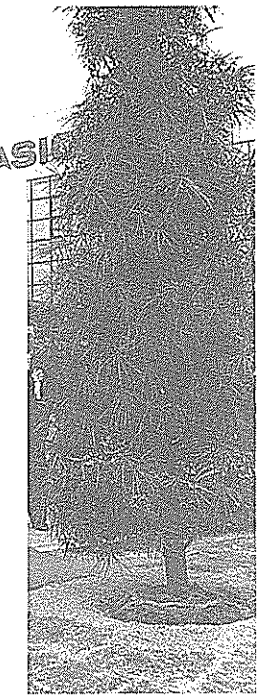
高知カシオの新工場は、敷地面積三万三千平方メートルに鉄骨二階建て九千八百平方メートル、LSIを薄く、効率良く実装することができるとABをはじめ、液晶表示モジュール(機能ユニット)など電子デバイス(部品)を生産するハイテク工場。七月より液晶テレビなどに使用される液晶表示モ

ジュールの生産からスタートし、来年一月からTAB方式のLSIの生産を開始します。当初は、液晶表示モジュールが月産五万台、十月からはTAB百万個を生産します。

南国市に

自信と刺激を

同社では、既に技術スタッフを中心に県外からのUターン組も含めて六十人を採用、さらに四月ごろまでには従業員



工場完成を記念して樫尾忠雄相談役が植樹

員数を百五十人に増やす予定で、フル操業時には三百人を雇用。現在の採用者は全員が県出身者で、高知高専からも五人の新卒者が採用されています。

高知高専では、今までは県内に希望する就職先がなく、やむを得ず県外で就職することも多く、エレクトロニクス機器のトップメーカーの進出は地元への就職を希望する学生に大きく貢献するものです。また、高専ばかりでなく多くの市民にとっても、新たな雇用の場となります。

高知カシオの完成は、南国市にとってこれからの税収効果以上に、優秀な人材を市内に留めることができる意味で、大きな自信と刺激を与えるものです。

LSI(ラージ・スケール・インテグレーション)：大規模集積回路
TAB(タブ・テープ・オートメーティッド・ボンディング)：回路形成したフィルム状のテープに直接LSIを乗せ、自動的に接合した部品

高知カシオの概要

社名：高知カシオ株式会社
所在地：南国市久礼田2420
資本金：3億円(カシオ計算機100%出資)
敷地面積：約33,000㎡
建築延面積：約9,800㎡
建物概要：鉄骨二階建
生産品目：TAB方式LSIなどの電子デバイス及び液晶表示モジュールなどの生産
従業員数：初年度 150名
フル操業時 300名
生産能力：当初 5万台/月(液晶表示モジュール)
当初 100万個/月(TAB)
工場稼働予定：平成3年7月



樫尾忠雄さん
(カシオ計算機相談役)

私も六歳まで南国市にいましたが、高知進出に際しては

何度も両親に高知のことを聞かされました。いずれは故郷に工場を立てることが父親の念願でしたので、この地域の人たちに少しでも役に立てるような仕事ができることを、両親は喜んでくれるのではないのでしょうか。

人材にも恵まれ、良いスタートができます。後は一日も早く業績を上げたいですね。